

「健康寿命の延びる沿線」実現に向けて

延ばすのは・・・

2016.2.25

阪急阪神ホールディングス
グループ経営企画室

阪急阪神グループの経営基盤・強み＝産・官・学・民と共創した沿線の価値・魅力

①交流価値

京都・大阪・神戸をつなぐ路線
観光・集客施設・外出場所豊富

神戸三宮



京都河原町



大阪梅田



②定住価値

住環境、生活利便性、自然多
住みたい街として高い評価

歴史ある屋敷町



個性的な商業集積
やにぎわいあるまち



六甲山系



自然の浜



③文化価値

歴史・文化のコンテンツと厚み
個性あるまちとコミュニティ活動

阪神間モダニズム



地域の歴史や祭り



美術・音楽を愛好
する市民の厚み



甲子園などの
スポーツ拠点



④産業価値

梅田のオフィス・商業集積
大学集積、地域の商工業

梅田の圧倒的な
商業集積



うめきた
ナレッジキャピタル

KNOWLEDGE
CAPITAL



多数の大学



地域の産業



宝塚

甲子園

大阪

神戸

脅威

少子化
年少人口減少

高齢化
医療・介護費急増

コミュニティ意識低下

インフラ老朽化
治安悪化

関西経済沈下
企業・人材流出

少子高齢化・人口減少時代の「新たな沿線価値の創造」に向けて

【検討分野】

次世代育成

健康・シニア

コミュニティ・文化

安全安心まちづくり

産業創造

【事業視点】

「地域の共有価値を、地域と共に創造する」 (Creating Shared Value with Community)

沿線の社会的課題に対応する事業活動を通じて、
地域と共に「新たな沿線価値」を共創し
持続可能な発展を目指す

- ◆新しい事業・サービス・施策の提供
- ◆沿線ステークホルダーや地域・住民とのネットワーク構築
- ◆地域ビジネス環境づくり

【目指す姿】

市民生活の質と、街の公共価値が高く、幸せに暮らせる
阪急阪神沿線(=Quality of Lifeの高い沿線)

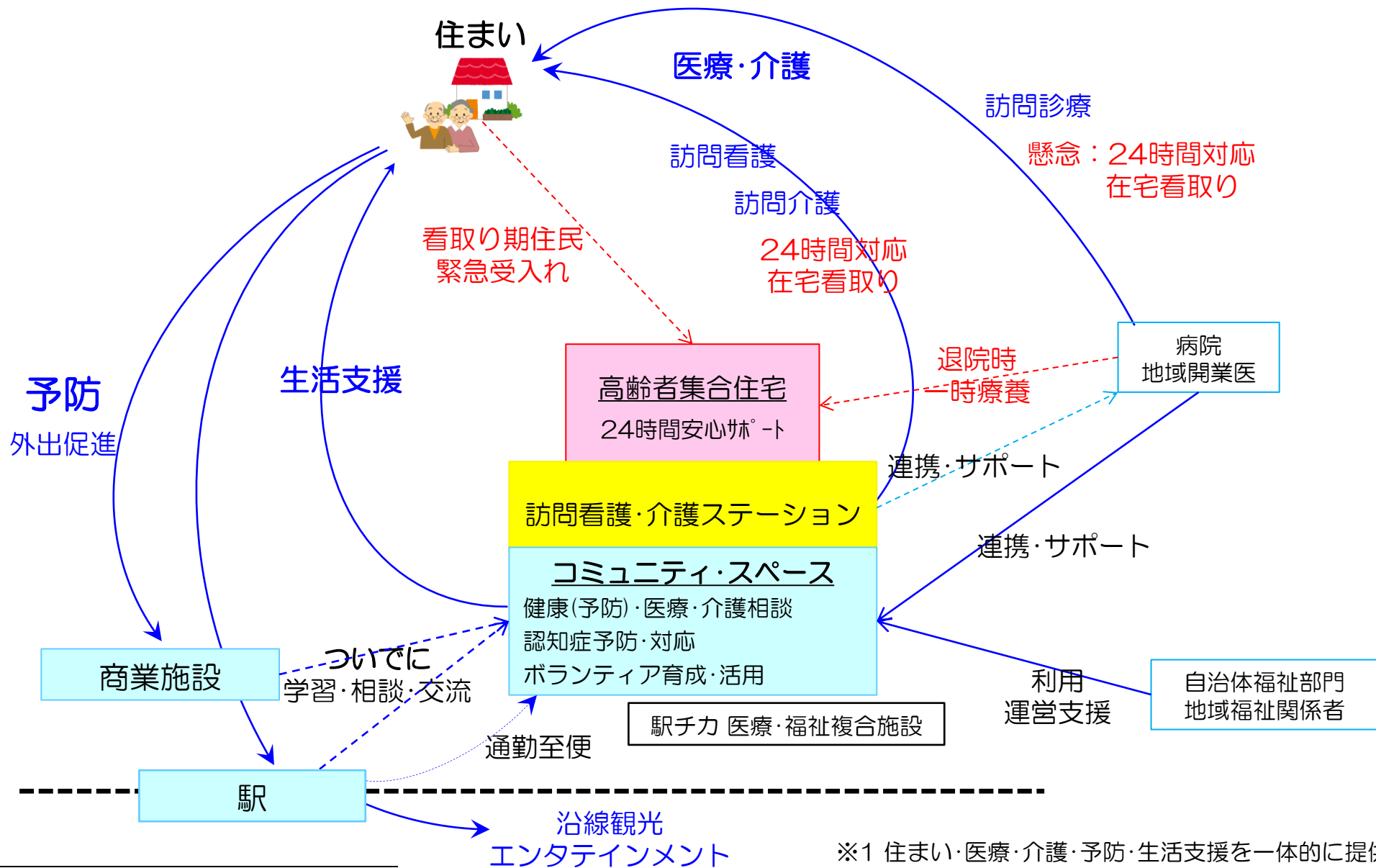
- 子育てしやすく、新規世帯が定住したいと思う沿線
- **健康寿命が伸び、生きがいのある老後がおくれる沿線**
- 地域コミュニティとの繋がりと互助の精神があり、わが街への愛着をもって、地域文化を創造・継承できる沿線
- 社会基盤が充実し、安心して、暮らし、移動できる沿線
- 地域の企業や人材が活躍し、新しい起業・創業が生まれるなど活気のある沿線

【健康シニア分野での取り組み】

住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」構築への貢献

- ・急増する高齢者の健康寿命延伸を支援し、鉄道・SC・ホテル・旅行等のグループ事業を継続してご利用頂く
- ・子世代の介護に要する時間、費用、精神的な負担を和らげ、元気に働き、沿線生活を楽しんで頂く

地域包括ケア※1・モデルエリアイメージ（阪急阪神沿線版CCRC※2）



※1 住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供
 ※2 Continuing Care Retirement Community

展開中サービス① 「阪急ケアサービス」



阪急阪神ホールディングスグループ

阪急バス

ひととまちに優しい 阪急バス



HOME > 阪急ケアサービス

阪急バスの訪問介護サービス

阪急ケアサービス

0120-89-6541

生活援助・身体介護

ご高齢の方も、ご家族も健やかでやすらぎのある暮らしを… 阪急のホームヘルパーが応援します。

インターネットでのご相談はこちらをクリック！

相談する

阪急ケアサービスで受けられるサービス。

自宅に居ながら日常生活を送るために必要なサービスを受けられるのが、訪問介護の利点です。
住み慣れたご家庭にホームヘルパーが訪問し、家事や身体への介護を行います。

当社は介護保険法に基づく指定事業者ですので、介護保険法が適用され1割の自己負担でサービスを受けられます。

●身体介護サービス… 身体のお世話にかかわるサービス(特に注意を払う見守りを含む)



■ 衣類の着脱
■ 身体姿勢の調整



■ 入浴や清拭
■ 排泄のお世話



■ 食事のお手伝い
■ 口腔内の洗浄



■ 通院の付添
■ 外出の準備

●生活援助サービス… 日常生活に必要な家事のお手伝い(軽い見守りを含む)



■ 居室の清掃



■ 調理・配膳



■ 衣類の洗濯



■ 買物の代行

訪問介護サービス

2000年にサービス開始

豊中・千里2拠点

安心感・信頼感が高い

平均3年で自宅から施設へ

阪急阪神ホールディングス株式会社

Hankyu Hanshin Holdings, Inc.

展開中サービス② 「はんしんいきいきデイサービス」

リハビリ運動



信頼性の高い機器を使用し、リズムに合わせてリハビリ運動を行います。十分な技術指導を受けたスタッフがサポートしますので、安心して日常生活動作の維持・向上に取り組んでいただけます。

ティータイム



ご利用者様同士やスタッフを交えて、気軽楽しくお話をいただけます。旅行の話や思い出話、これからの目標や夢などの話をするのも、活動への自信につながるのではないのでしょうか。

からだ

(身体面)

こころ

(精神面)

「からだ」と「こころ」の両面から、皆さまが住み慣れた街で引き続き
「いきいきとした生活」を送っていただけるようサポートします。



リハビリ特化型デイサービス

2013年にサービス開始

ドイツの認証を取得した信頼性の高い機器を使用

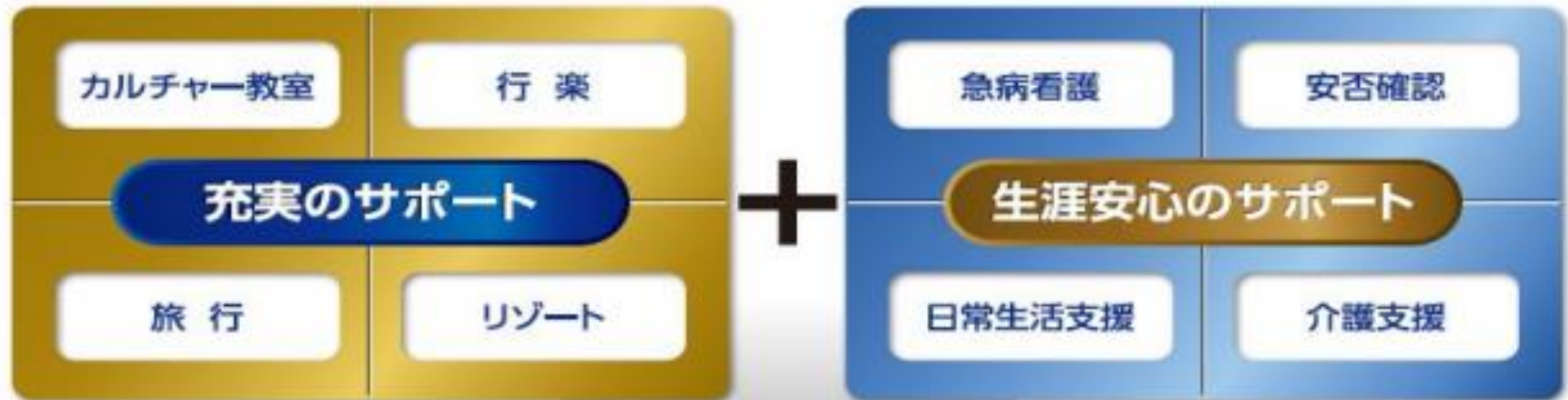
現在 西宮・尼崎・大阪野田・
南茨木・高槻・野田南の6店

介護度改善に実績

展開中サービス③ 「ロイヤル・コミュニケーションズ倶楽部」

2015年4月サービス開始（資本提携）

「シニアライフ総合サポート事業」

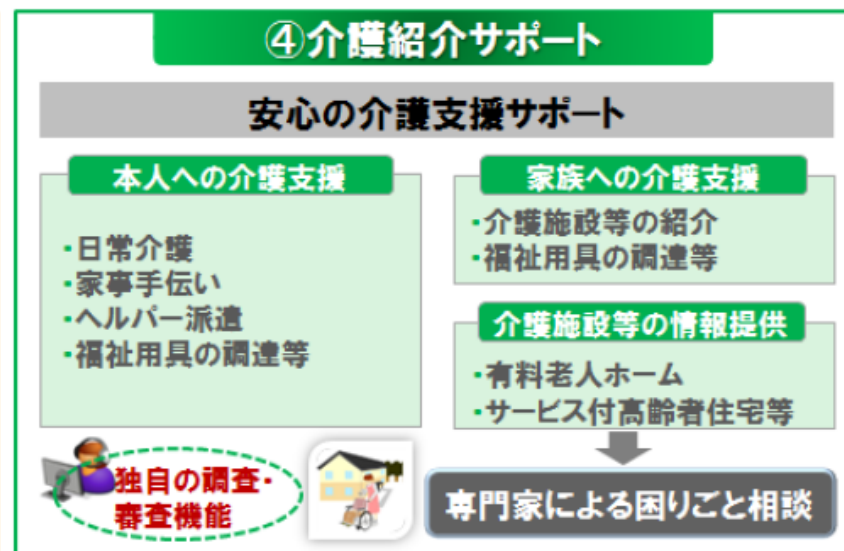
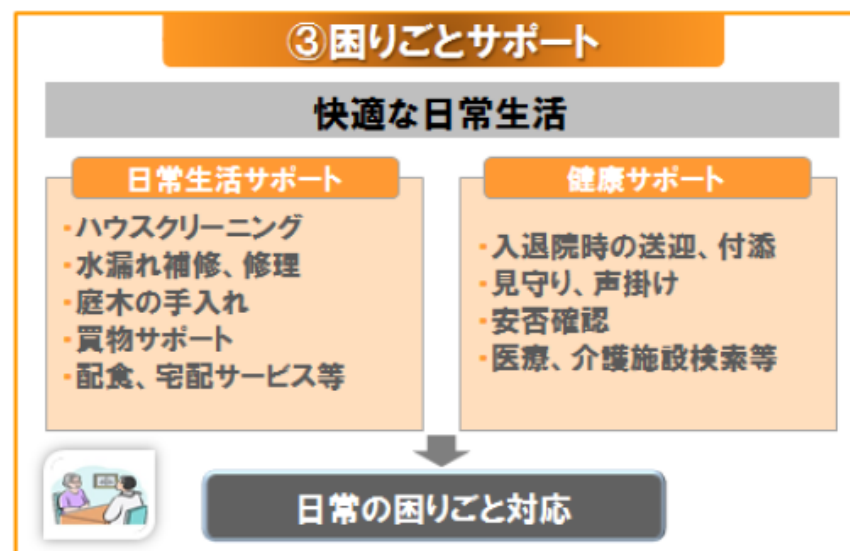
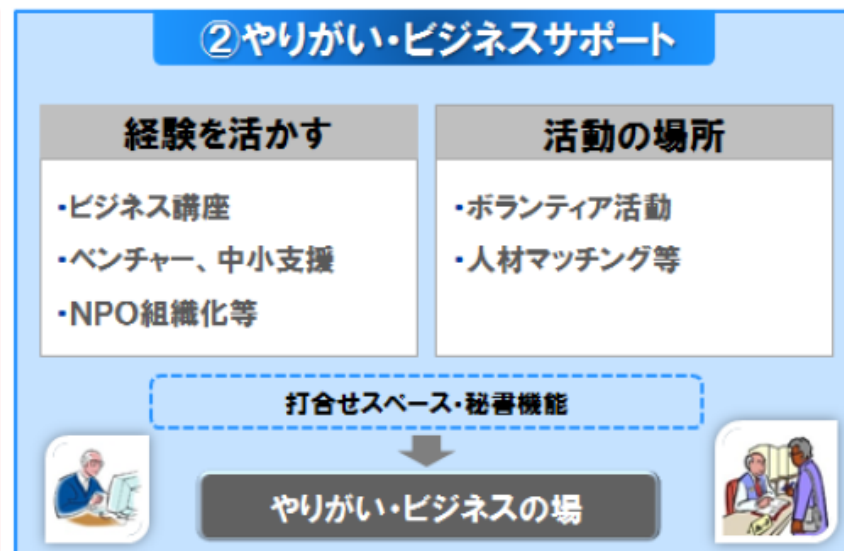
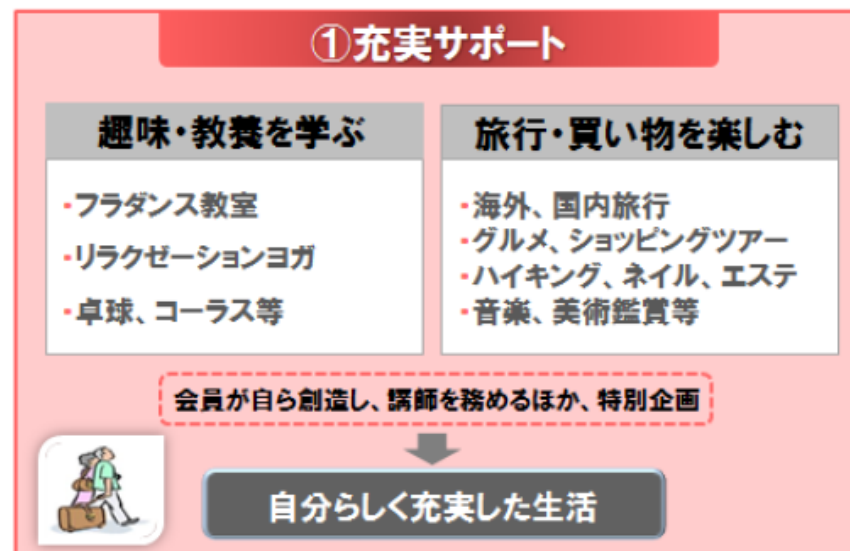


「ワンストップ型シニアサービス」

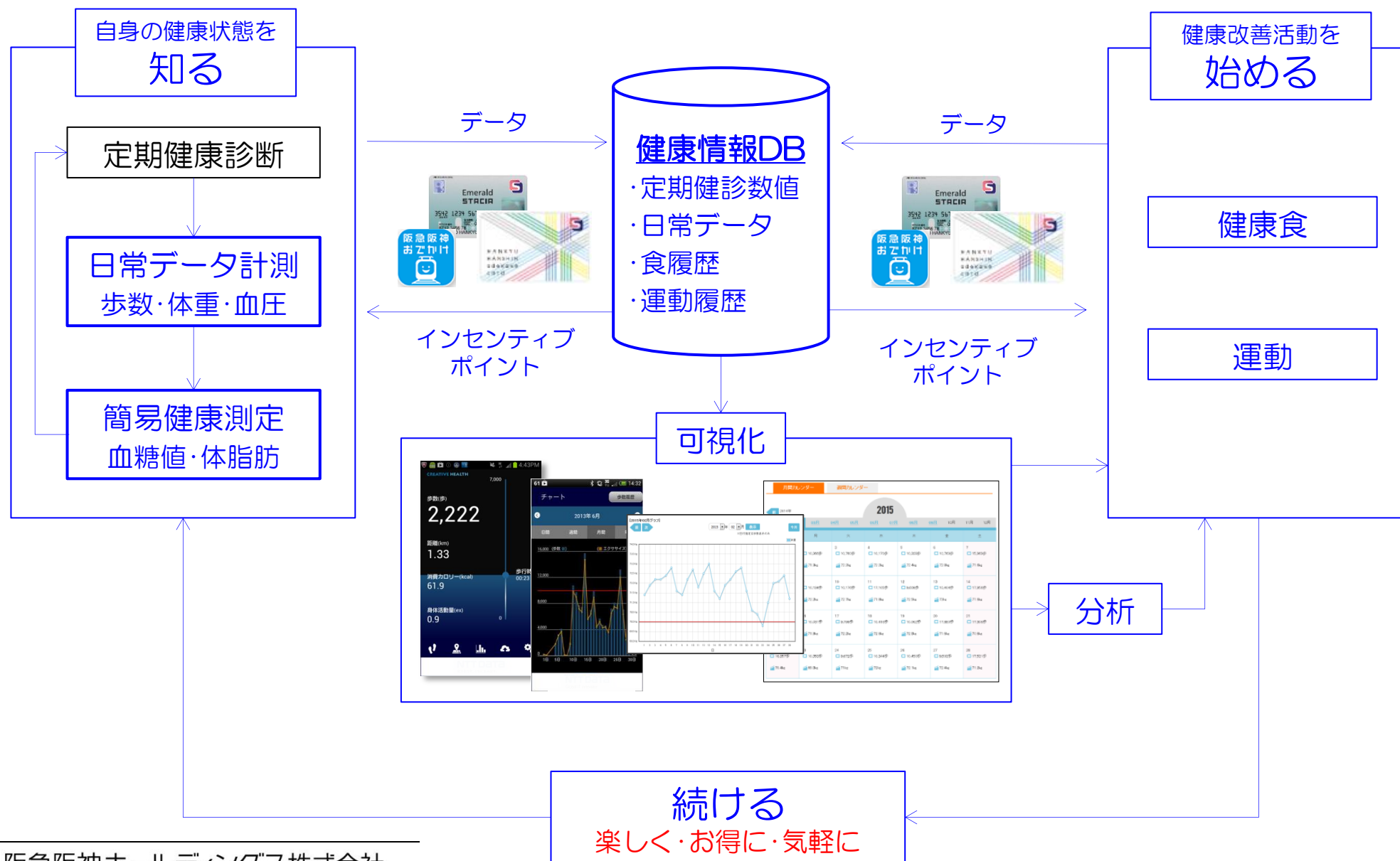
会員様の暮らしのなかで、いつでも、どんなお困りごとも
倶楽部へのお電話一本で解決します。
—会員様は生涯セーフティネットの中にいます—

展開中サービス③ 「ロイヤル・コミュニケーションズ倶楽部」

会員制サロンでの提供サービス



予防サービス・イメージ（セルフメディケーション支援）



テストマーケティング

1. 健康発見フェア2015

- 有料健康測定（血管年齢・血流 各300円、骨密度 500円、HbA1c 1,000円）
- 管理栄養士の食生活アドバイス、健康食品（ドーナツ・クッキー）販売等
→健康意識（関心・不安）と有料サービス受容度の検証
- 6/26～28 阪急梅田駅、7/10～12 阪急西宮北口駅・スタジモにしのみや で実施
- 有料健康測定参加 1,884名 記名式アンケート回答 1,688名

2. 大阪府・公立学校共済組合大阪支部「健康づくりメニュー共同開発」

（目的）次世代を育てる教職員の心身の健康の改善

→全国ワーストに近い大阪府民の健康寿命の延伸に援用

8/25 キックオフイベント開催（参加希望者から120名を抽選）

ICT健康モデル（2014総務省実証実験参加）・健康アプリの紹介

宝塚OGによる運動指導体験・健康食試食会



ICTアプリ説明



宝塚OG運動指導



健康食試食会



（共同開発の背景）全国平均(12.4%)を大きく下回る(2.9%)大阪府公立学校教職員の保健指導参加率の向上
得でも面白くも無いものに何のために？

関西イノベーション・ハブ(iHub)の取り組み

Healthcare Nexus

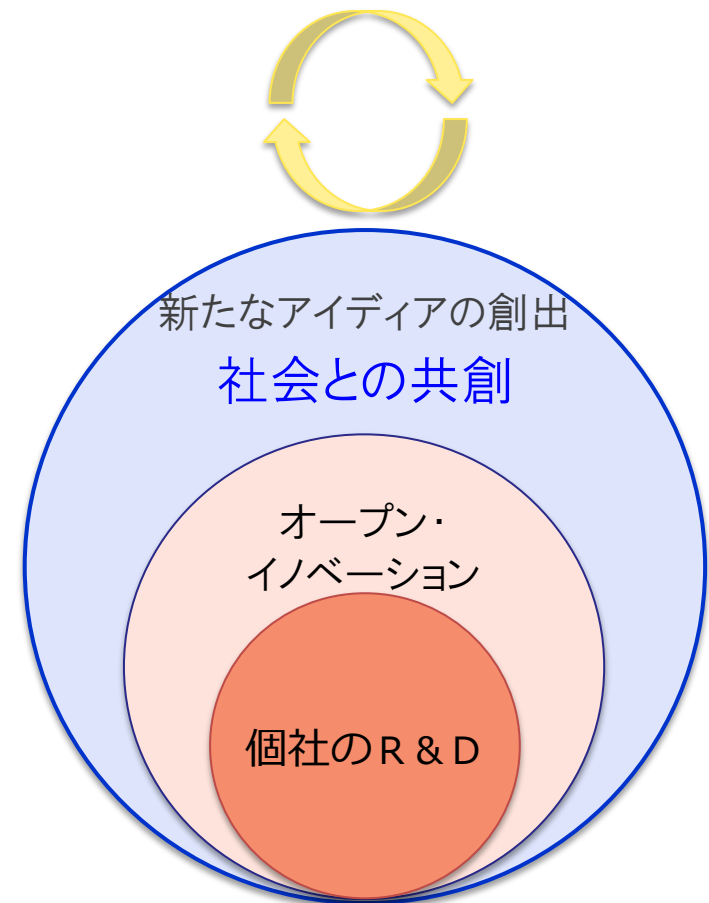
～高度“健康”社会に向けたソーシャル・イノベーションと
ビジネス・エコシステムのデザイン～

「関西地域を盛り上げるため、2025年の高度健康
社会を見据えた、革新的なビジネスを構想（デザ
イン）したい」

関西に本拠を置く6社（大阪ガス、サントリー、
塩野義製薬、ダイキン工業、日東電工、阪急阪神
ホールディングス）と日本政策投資銀行は、
多摩大学大学院の紺野先生の協力も得て、
「オープン・イノベーション」の取り組みを開始
しています。

リビング・ラボ

ビジネスモデルの実証



※リビング・ラボ: 消費者、大学、企業等がオープンに一体となり、
ユーザー目線に立ってビジネスモデルの実証を行う「場」

リビング・ラボ① 健康カフェ

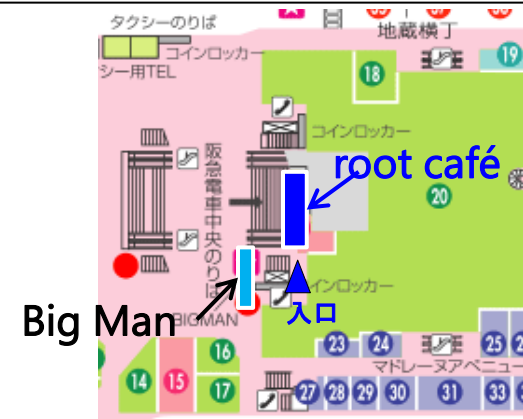
健康発見フェア・アンケート 参加者年齢 ①50代 23.3% ②60代 21.4% ③40代 19.5% ⑤30代 11.8%
今後取組みたいこと：①ウォーキング ②睡眠の質の改善 ③食事内容改善
参加したいイベント：①健康測定 ③食事相談(管理栄養士) ④健康相談(医師)
公立学校共済・アンケート 健康データ管理システム・アプリ関心度82% 健康食試食会満足度 61%

生涯健康を目指すお客様への健康食・健康サービス体験の場
健康企業の健康情報発信・マーケティングの場として

「健康カフェ」1号店を阪急梅田駅 Big Man下に 2/24 OPEN！



カラダをroot（根っこ）から見つめなおす
きっかけとなりココロとカラダを根源から
整えていただけるカフェ



健康食レストラン事業

店内飲食(セルフ方式)

モーニングセット500円、ランチセット980円、
プレートセット1,350円、ハーブカクテル600円 等

テイクアウト

ベジスムージー600円、ハーブティ550円
チアシード入りドーナツ、やさいのたまご(プリン)、
微硬水KOBÉ WATER、六甲山はちみつ 等

健康サービス体験・健康情報受発信事業

ワークショップ・セミナー

健康をテーマに医療機関・健康関連企業(食・運動用品・
家電等)と連携したワークショップを随時開催

お客様参加料：無料or500円～(飲料菓子付 定員40人)

健康相談・・・店内カウンセリングコーナーで定期的に行う

健康サービス体験・・・商品展示・体験コーナー常設

リビング・ラボ② ひとえきウォーク

厚労省 健康づくりのための身体活動基準2013

身体活動の増加で、糖尿病・循環器疾患に加え、**がん・ロコモ・認知症のリスクも低減**することを明確化



健康発見フェア・アンケート (2015.7 n=1,688)

健康面で**不安**：生活習慣病、認知症 今後取り組みたい：ウォーキング 参加したい：健康測定、歩き方指導



ウォーキングの健康改善効果は沿線のお客様に浸透



シニア：身心の衰えや失敗体験から外出が億劫 / 若・中年層：健康は気になるが多忙で運動習慣が続かない



「気軽に始められ」 「心身の健康に効き」 「楽しく続けられる」ウォーキング・コースを開発

ひとえき目安
イベントで体験
↑
シニア・学生ボラン
ティアがサポート

「歩きながら」「音声ガイドアプリで」
デュアル・タスク
沿線の歴史や健康・医療知識を学習
認知機能向上クイズに回答
認知・身体能力を計測

住み慣れたまちの歴史・魅力を再発見
歩数・足跡MAP(歩いた道)を記録
歩数ポイント・コース踏破ポイントを獲得
健康コミュニティへの参画(募集中)

リビング・ラボ② ひとえきウォーク

ひとえきウォークお披露目イベント

- ・ウォーク・ルートの終点近辺に健康講座・健康測定・健康食試食等の出来るイベント会場を設営。初回は5/7（予定）
- ・毎年開催の恒例イベントとし、沿線住民の健康に対する関心を喚起・向上ウォーキング参加者以外の市民も対象とし、健康意識の啓発対象を拡大。
- ・認知症予防番組「頭にいいラジオ」のラジオ関西と共催。



ひとえきウォーク開発のために・開発により並行して構築

ソーシャルキャピタル※

- ・学生・シニア共創スキーム構築（沿線大学授業）
- ・サポート・ボランティア組成（学生・シニア）
- ・みまもりコミュニティ参加施設・店舗等募集

ICTスキーム

- ・歩数計測・健康データ管理アプリ（N社）
 - ・音声ガイドアプリ（X社）
（道案内＋歴史・みどころ解説＋健康クイズ）
- ⇒お客様評価に基づき改修・開発

波及効果を実現

健康まちづくりの推進

- ・生活支援ボランティアによる地域包括ケア支援
- ・シニアの社会参画の場の創出
- ・産・官・学・民連携によるスマートウェルネスシティ化

交流人口増

- ・沿線観光あるき等既存コンテンツをアプリに組み込み。
- ・X社の全国の観光コンテンツ（世界遺産等）と合わせて相互PR
- ・多言語対応技術を活用しインバウンド顧客も対象に

リビング・ラボ③ 駅チカ コミュニティ・スペース

1. 地域包括ケア推進コミュニティスペース

○健康医療相談/認知症予防・対応/ボランティア育成・派遣

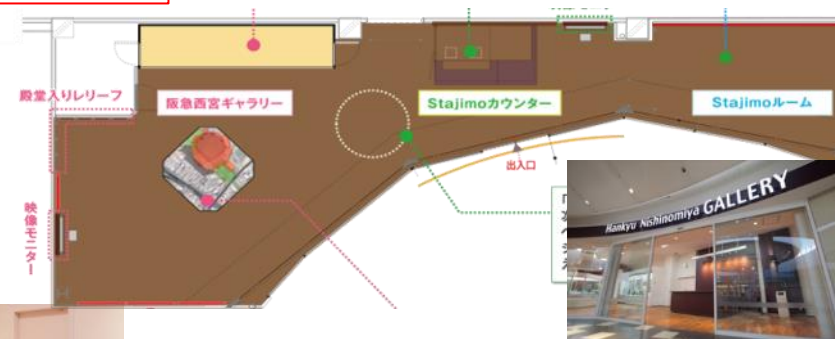
2. 沿線コミュニティスペース「スタジモ」

- 開業日： 2015年4月11日(土)
- 場 所： 阪急西宮ガーデンズ5階 阪急西宮ギャラリー内
- 取 組： 地域コミュニティ向けの有料貸スペース「Stajimoルーム」(約25㎡)
生活関連サービスの紹介・取次「まち・くらしコンシェルジュ」



- ◆ 地域活性化を図り、沿線への愛着を育むことで、沿線価値を創造。
- ◆ 地域の皆様とのつながりを深める協働を通じて、グループの沿線事業の新しい可能性を探索。

Stajimoルーム ご利用の様子 ～WEBサイトより～



【来館者数】

21,211人

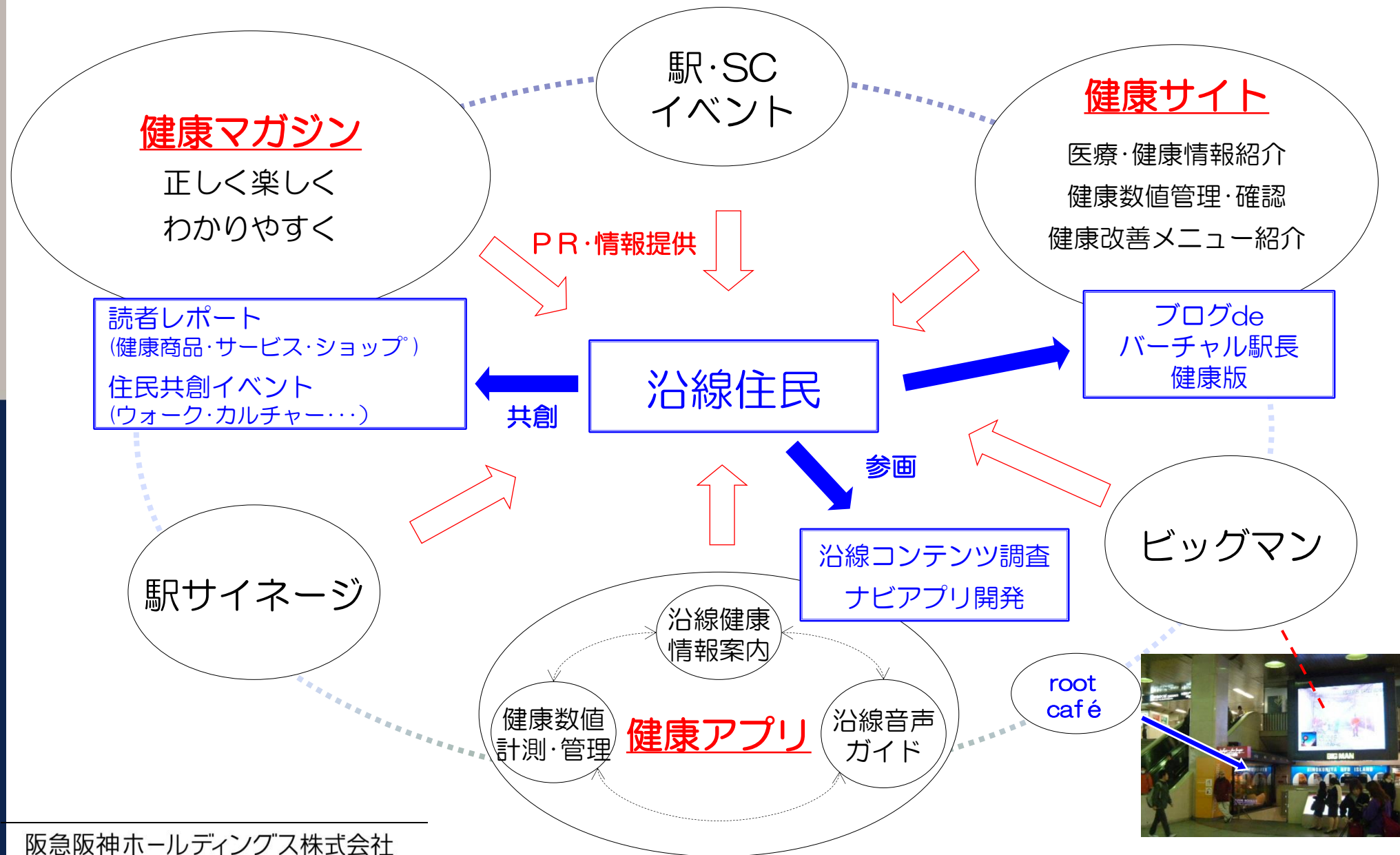
7/30に1万人

11/13に2万人を達成

【登録コミュニティ】

90団体

リビング・ラボ④ 健康マガジン・健康サイト・健康アプリ



大阪府・公立学校共済組合大阪支部「健康づくりメニュー共同開発」

目的：全国平均(12.4%)を大きく下回る(2.9%)大阪府公立学校教職員の保健指導参加率の向上

→次世代を育てる教職員の心身の健康の改善 →全国ワーストに近い大阪府民の健康寿命の延伸に援用

8/25 ICT健康モデル・健康アプリ紹介/宝塚OGによる運動体験/健康食試食会（参加希望者から120名抽出）

2015.11～ 保健指導プログラムの実施

- ・保健指導（動機づけ支援）対象者20～30人を1グループとし、下記を含む全3回のプログラムを実施

- ①健康指導・個人別目標設定
- ②健康アプリによる数値管理
- ③宝塚OG運動プログラム受講
- ④健康食紹介

- ・4グループにプログラムを実施し（計12回の予定）
参加者に評価を聞きながら、内容を改善中



公立学校共済組合教職員向け案内資料より抜粋

尼崎市「未来いまカラダポイント事業」

- ・健康増進活動参加市民にポイントを提供し、健康寿命の延伸と医療費の適正化を推進する事業
- ・市民の参加インセンティブ向上のため、市の実施メニュー（健診受診 300P・保健指導参加300P等）に加えて、企業から健康づくりメニューと、たまったポイントを交換できる特典を提供
- ・阪急阪神グループからは、健康づくりメニューとしてハイキング（100P）、交換商品として阪急阪神おでかけカード（1000P入り）を提供
- ・阪急阪神グループのポイント共通化（4月下旬から）、予防サービス充の拡充により、プログラムの魅力向上に貢献

関西エリア共通ポイント



「Sポイント」



産・官・学連携事例① 日本医学会総会2015関西 未来医XPO'15

コンセプト：「あなたの暮らしと医の博覧会」

メイン会場：神戸国際展示場

3.28～4.5：9日間で29万人が来場



主催：日本医学会 会費：井村 裕夫 展示委員長：杉村 和範 副委員長：木村 佑 山岸 久一 平野 徳夫 高井 浩典 森 洋一 準備委員長：三嶋 雅典
メイン会場：神戸国際展示場 時間：10:00～18:00(平日)
4年に1度開かれる国内最大規模の医学系の学会「日本医学会総会」が史上初、神戸の地で開催！
最新の医療・医学や科学に触れられる体験型の「医」の博覧会に、家族そろってお越しください。



未来医XPO'15ポスターより



手術支援ロボット



iPS細胞

2015.7 設立

目的

健康関連研究推進・産業振興
住民の健康維持支援 等

組織

関西地区12大学医学部
研究機関(国循・理研等)
関西広域連合・関経連 等

分科会テーマ

- ①医療情報
- ②遠隔医療
- ③健康まちづくり
- ④認知症対策
- ⑤人材育成

関西健康・医療創生会議

設立記念シンポジウム

日時

2015年12月22日(火)
14:00~16:30

会場

グランフロント大阪 北館
ナレッジシアター

関西から、少子高齢社会の健康長寿を達成する新たな産業の創造、安心で健康に生活できるまちづくりを発信する関西健康・医療創生会議。そのスタートにあたり、4つの分科会における具体的な取組みやねらいを披露し、医と産業の連携に向けた期待と展開について討論します。

第1部 (14:00~15:20)

リーダーから分科会への問い

～分科会の内容、進め方、めざす方向～

第2部 (15:30~16:30)

パネルディスカッション

～医と産業の連携に向けた期待と展開

第1分科会 医療情報

【1000年カルテプロジェクト】

一生の医療情報を保存し、診療や研究に役立てるプロジェクトが始動した。内閣官房主導の次世代医療ICT基盤協議会のプロジェクトの一つで、日本医療研究開発機構(AMED)の支援を得て行われる。京都大学、宮崎大学の研究者が参加。従来、各地域で個別にEHRデータセンターを設立・運営していたが、これを一つの共同利用センターに集約して運営コストを下げる。患者へのデータ開示、共同診療のほか、データの2次利用により研究等にも役立て、2次利用収益で全ての運営費を賄う。

第2分科会 遠隔医療

【通信技術による医療の質向上】

遠隔医療の求めるもの、それは究極的には省力化、迅速化、情報の共有化によって得られる医療の質の向上であろう。このために通信技術の導入とネットワーク形成は欠かせない。これにより、いつでも、どこでも的確な診断、治療の提供が可能となる。そのためには新しい発想と技術イノベーションが必要である。

第3分科会 少子高齢社会のまちづくり

【MBT(医学を基礎とするまちづくり)】

医師は患者と1対1で対応しているが、医学的知識は膨大であり、産業創生、地域創生、そしてまちづくりに生かせないか考えた。これを MBT (Medicine-Based Town) 「医学を基礎とするまちづくり」と名付け、提唱している。医学の知識をまちづくりに生かし、少子高齢社会を解決するモデルの構築を目指す。

第4分科会 認知症への対策

【認知症の人の視点を重視した生活支援】

人口高齢化に伴い認知症高齢者が激増しており、国も認知症を国民の健康・医療における重大な問題として、種々の対策を相次いで打ちだしている。認知症は本人だけでなく、家族の生活を脅かし、社会にも大きな負担となる。認知症の多くはいまだ根本的な治療法がなく、その対策として、早期発見、早期対応、そして認知症の人にやさしい地域づくり、認知症の人の生活支援が重要と考えられている。世界は「認知症の人の視点を大事にする」という流れであり、それを担保するための方策を考えてみたい。

産・官・学連携事例③ 健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス

2015.11 科学技術振興機構

「地域発研究開発・実証拠点」に採択

目的

異分野融合最先端研究開発
成果の事業化・人材育成 等

組織

京大・神大・理研等12研究機関

兵庫県・神戸市

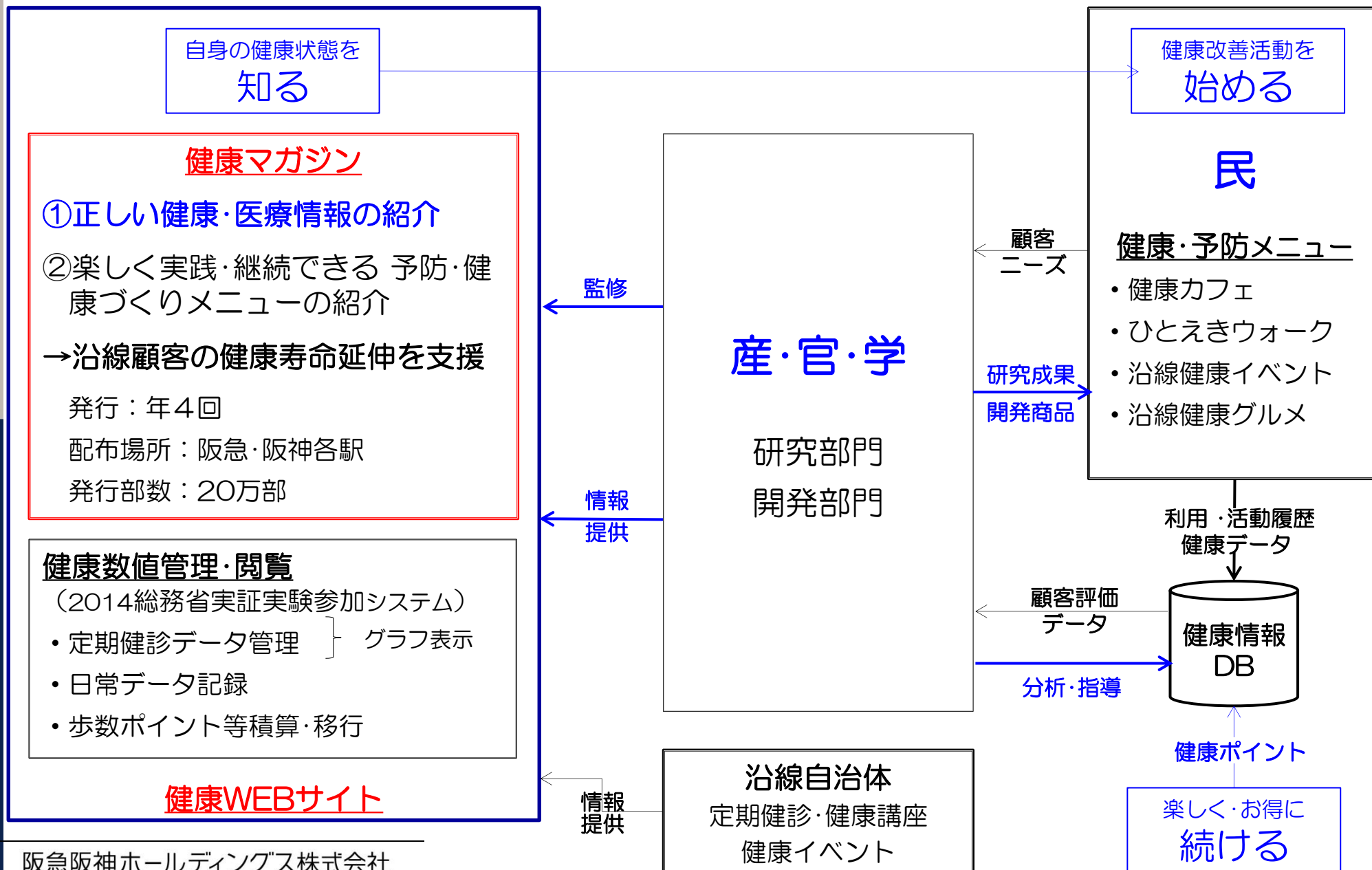
NEC・塩野義製薬

阪急阪神ホールディングス等31社

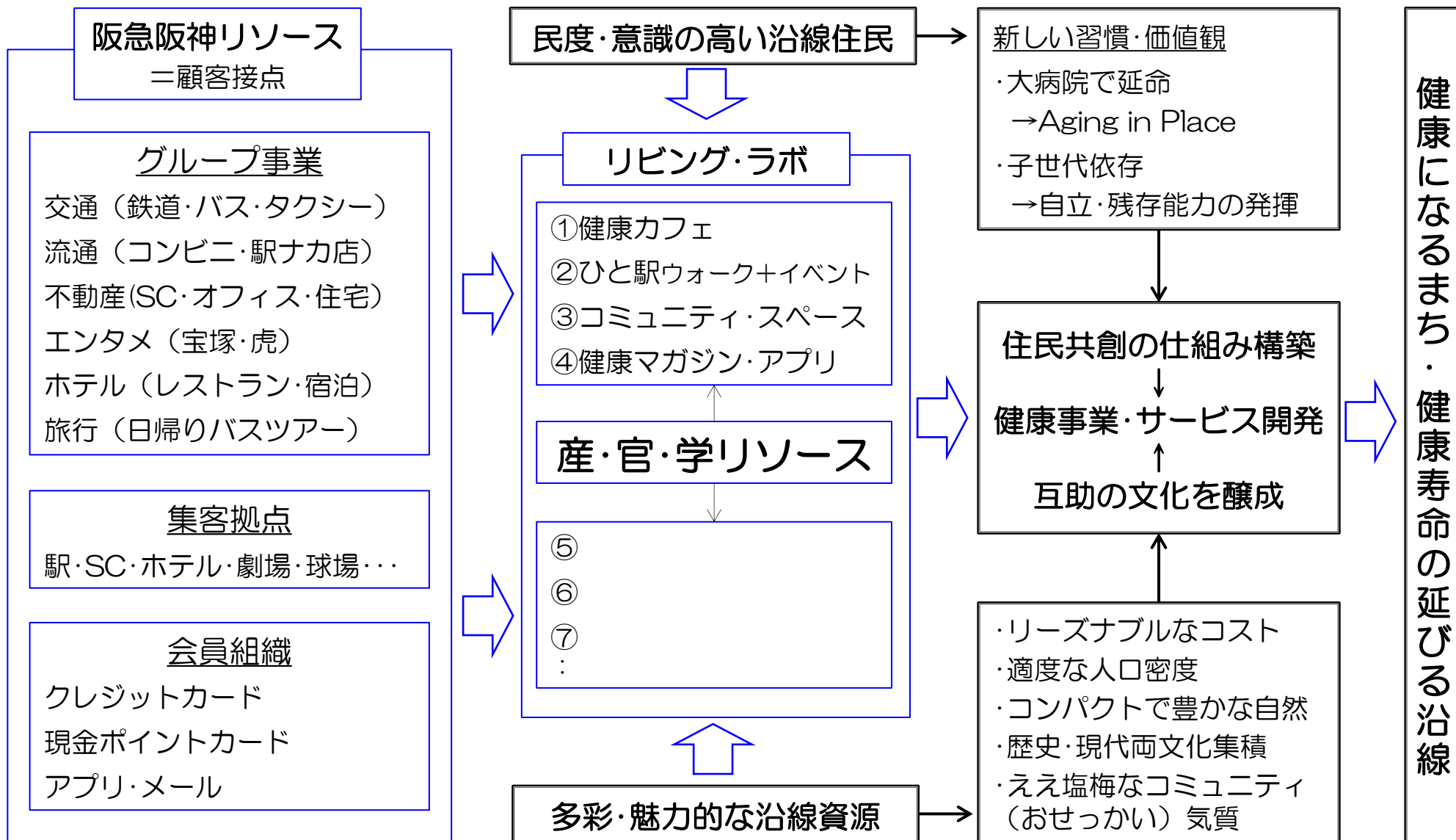


理化学研究所ホームページより

産・官・学・民による健康情報DB・予防ソリューション共創イメージ



「健康寿命の延びる沿線」共創に向けて



ご清聴ありがとうございました。

リビング・ラボへの参画・ご支援
お待ちしております。

阪急阪神ホールディングス
グループ経営企画室 事業政策部 西水 卓矢

06-6373-5044

nishimizu-takuya19@hankyu-hanshin.co.jp